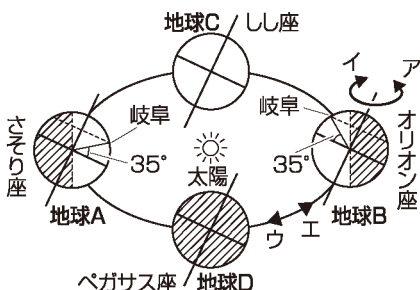


岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール 岐南校・松田 真

問題【理科】

図は地球の代表的な四つの地球と星座を表しています。次の問いに答えましょう。



- (1) 地球の自転と公転の向きをア～エから選びましょう。
- (2) 夏至の地球はA～Dのどれになりますか。
- (3) 春分の日明け方、西の空に見える星座は何座ですか。

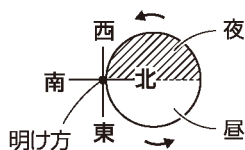
豆知識 雑学コラム

地球は「反時計回り」

今回は中3の星の年周運動からの出題です。地球の自転の向きと公転の向きはよく出題されます。覚え方は何でも反時計回りです。次に、どの位置にある地球の季節が何であるかを考えます。季節によって変わるものは、太陽の通り道や高さなどですが、一番大切なことは、昼の長さの変化です。地球Aに注目してみます。地球を球と考えると、太陽の光は右半分だけに当たります。北緯35度の岐阜は点線上を動くので、昼の世界、つまり右半分にいる時間が長いですね。したがって地球Aは夏です。また夏至と決めてもOKです。夏至は6月20日前後（年によって若干変わります）で、昼が最も長く、約14時間30分ほどになります。他の季節は反時計回りに回すだけです。

嫁さんとのお見合いの日も昼がとても長く、午後7時ごろに帰ったのですが、笑顔で「まだ明るいね」と言われてズキューン。大好きになりました。今でも覚えている6月13日（日）の出来事でした。なぜ日にちまで覚えているかというと、この日は中学生の定期テスト直前で、日曜勉強会を長時間行ったのですが、塾長が、35歳という私の年齢を心配し、お見合いに行ってきたと後押ししてくれたからです。

さて(3)の難問を解説しますね。考え方は地球の特定、昼夜チェック、位置の特定、方角の特定の順です。まず春分の日地球を特定します。(2)の夏至を反時計回りに回して地球Cになります。次に、時間や方角を考えるときは図のように地球を北から見て考えます。昼は太陽のある下側半分。一番外側の線は赤道で、日本はその内側を回りますが、赤道上で考えても同じなので図に書きやすい赤道上で考えます。自転の向きを考えると、左の境目が夜から昼に変わるので明け方になります。方角は、真ん中に北極があるので真ん中方向が必ず北、そこから西を見ると、解答の「しし座」が見えます。



【解答】

1) ア・ウ (2) C (3) しし座